

■日時 令和4年8月16日(火) ■天候 晴れ クラーク記念国際高等学校 熊本・通 対 川崎市立橋高等学校
 ■球場 駒沢硬式野球場 第2試合 2回戦 ■試合時間 2時間43分 ■備考
 ■審判 球審:清水 塁審:小松 栗村 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
クラーク 熊本	西九州・熊本	0	0	0	0	0	0	0	5	1						6	3	2
橋	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	11	×						11	9	5

クラーク 熊本																			
ポジション				氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9
1	中	二	中	二	西村 浩翔	4	2	1		三振		四球			三振		右2		三振
2	二	遊	二	遊	高木 永遠	4	1	1		三振		二ゴ			右安		遊失		死球
3	遊	投	遊	投	田尻 悠斗	5	1			三ゴ		二飛			三振		左失		二飛
4	投	中	投	中	河端 峻平	5	1	1	1		三振		三振		三振		中2		三振
5	捕				松下 太陽	3	1				投飛		三振				一ゴ	*1	
6	左				村本 朝陽	3					死球		三振				三振		一失
7	三				平井 佑樹	3					三振				三振		三振		四球
8	右				京 卓音	4						三振		三振			三振		三振
9	一				西部 聡音	3						四球		投ゴ			捕飛		二ゴ
合計						34	6	3	1	残塁:6 併殺:0									
備考										*1は申告敬遠									

■バッテリー

投手	捕手
河端 峻平	松下 太陽
田尻 悠斗	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数	
河端 峻平	6	2/3	27	4	9	7	1	114
田尻 悠斗	1	1/3	15	5	3	4	7	56

橋																			
ポジション				氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	8	9
1	捕				矢部 和真	4	2	3		四球		捕飛		左2			左3	中安	
2	二				三浦 翔	1	2	1	2	四球		四球		四球			四球	左2	
3	一				松岡 幸騎弘	3	1			死球		三振			遊飛		死球	捕飛	
4	投				三浦 翼	5	2	3	2	一飛			遊安		右3		三失	左安	
5	遊				大石 優希	3	1	1	2	投ゴ			投犠		三振		死球	三安	
6	中				小森 愛里	3	1		1		三振		四球		三振		捕犠	三振	
7	三				吉田 侑生	4	1	1			遊ゴ		三振				三振	左安	
8	右				間瀬 智紘	3	1				三振				三振		遊ゴ	死球	
9	左				小俣 愛斗	3						死球		三振			三振	三振	
合計						29	11	9	7	残塁:7 併殺:0									
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
三浦 翼	矢部 和真

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数	
三浦 翼	9		40	3	19	6	0	144

■戦評

大会2日目駒沢球場第2試合は西九州地区代表のクラーク記念国際高校・熊本・通と1回戦を5回コールドで勝ち上がってきた神奈川県代表の川崎市立橋高校の試合 1回裏クラーク先発の河端は制球が定まらず3連続四球でピンチを迎えるもキャッチャーの好守備もあり0点に抑える。河端は2回以降、走者を出すものの要所を抑え7回まで3安打0失点の好投を続けた。一方、橋のエース三浦翼は毎回三振の好投で7回までクラーク打線を完全に抑え、試合は両チームエースの投げ合いの展開で進んだ。8回表、クラークは1番西村と4番河端の二塁打に相手失策を絡めて5点を挙げる攻撃に成功し、試合を有利にすすめたかに見えたが8回裏リリーフとして出た田尻が橋打線につかまる。橋は8回裏、1番矢部の三塁打を皮切りに打者15人の猛攻で11得点を挙げ一気にクラークを突き放す。クラークは最後まで粘りよく戦ったが、最終回は1点を返すのがやっとで力尽きた。